

■ 編集委員

池淵 研二 (委員長)

小林 国彦 小山 勇 篠塚 望 菅澤 正 名越 澄子 仁科 正実 町田 早苗
松下 祥 渡辺 修一 Chad L Godfrey (五十音順)

■ 編集後記

冬季オリンピックが完全に終わり、興奮が急におさまリ、仕事に身が入るようになりました。さすがに日本人選手ペイキで、彼らが活躍する場面をテレビが何度も何度も繰り返し紹介するのを、こちらも飽きもせず何度も見てしまっていました。

どうしてこれほど日本人選手が活躍できるようになったのか？練習メニューの組み立て方に科学力が導入され、基礎体力の元となる栄養面のサポートにも科学力が力を発揮した感があります。またドラマの「陸王」で紹介されたように、スポーツ選手が使用する靴やウェアや競技ツールの開発にも科学力が貢献しているのだと予想します。

一番顕著な例として、スピードスケートのウェアが紹介されていました。前傾姿勢が保ちやすく、着たままだと真っ直ぐ立った姿勢が苦しくて、ゴールに入った後はすぐにキャップを外し前のチャックを開放しないとイケないらしい。またスケート靴にも個性重視の改良が沢山加えられているようで、選手は転倒した場合、背中から外壁にぶつかって大切な靴を壁にはぶつけないように守ると話していました。

医療の現場にいる私も皆さんも感じたことの一つの感動ドラマとして、スピードスケートの小平選手をサポートし続けた長野県の相澤病院が立派だったなあという記憶が残っているのではありませんか？また小平選手のライバルだった一人の選手はこの病院の職員として採用され、栄養士の資格を取り、小平選手の栄養面のサポートをしていたという話にも感動しました。何とドラマの多い冬季オリンピックであったことか！

さて本学に目を移してもらって良いでしょうか。以下のニュースを皆さんご存知ですか？大学の学内ホームページの「TOPICS」欄で見つけることができます。

- 2018.01.12 本学AC山口・鶴澤両選手が第42回牛久シティマラソンで1・2位の快挙！
- 2018.01.12 箱根駅伝・富士山女子駅伝に来年度新採用内定者が出場しました！
- 2017.12.20 本学AC・石崎千澁さんが「かさま陶芸の里マラソン」で優勝！
- 2017.12.15 第94回箱根駅伝に来年度新採用内定者が出場します！

埼玉医大ACの選手の活躍、間もなくテレビ画面で見られる時が訪れるかも知れません。

さて肝心の話ですが、本号には学内グラント終了報告書が27編掲載されており、学内の研究活動のおおよその傾向が読み取れます。是非とも一読をお願いします。

(池淵 研二)

埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/jsms/>

第44巻 第2号

編集責任者

池淵 研二

平成30年3月16日 印刷

平成30年3月31日 発行

発行所

埼玉医科大学 医学会

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話 049(276)2102/2030 (直通) FAX 049(276)1964 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

制作

株式会社 兵頭デザイン

埼玉県朝霞市溝沼 3-10-10 電話 048(451)5071(代) <http://hyodo.co.jp>